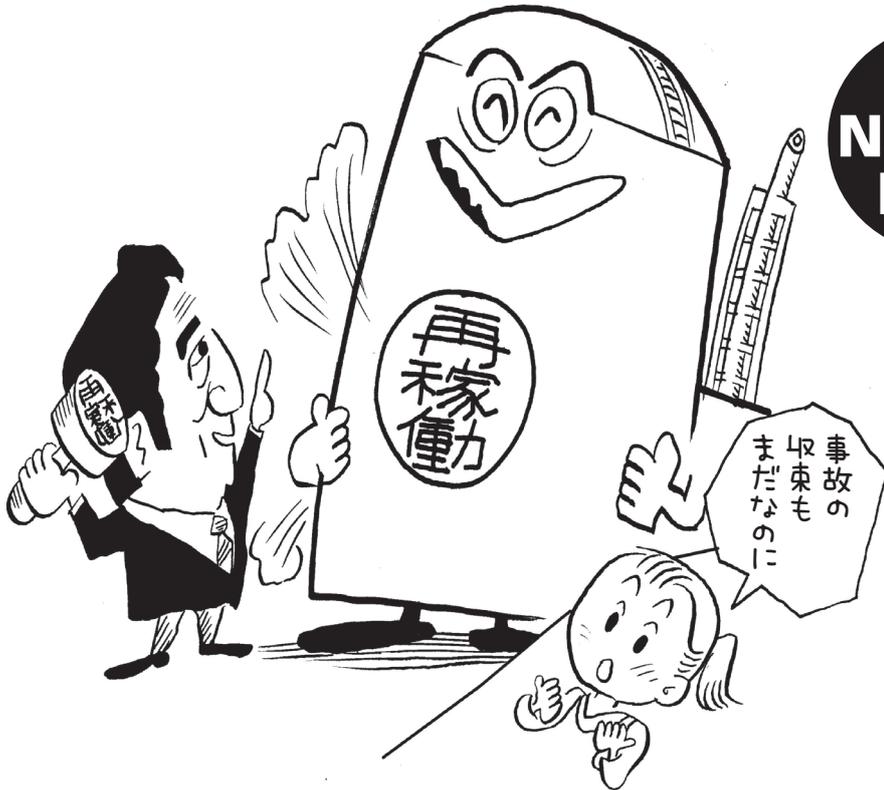


再稼働ノー いますぐ原発ゼロの決断を

福島県ではいまだ16万人が避難生活を続け、放射能被害は拡大し続けているにもかかわらず、政府は原発再稼働、新增設の動きを強めています。一刻も早い原発ゼロの実現に向けて力を合わせましょう。



**NO
NUKES
DAY**

**6月2日は
明治公園へ**

原発ゼロの日本の実現へ向け、
全国から集まろう

原発ゼロをめざす中央集会

日時：2013年6月2日 11:00~14:00
※終了後デモ行進(16:00から国会大包围)

会場：東京・明治公園

主催：原発をなくす全国連絡会

Web:<http://www.no-genpatu.jp/>

ツイッター：<https://twitter.com/gennpatu0>

福島原発事故は収束していない

「ネズミが感電して配電盤ショート、冷却が停止」「地下貯水槽から汚染水が漏れていた」—東京電力福島第一発電所で事故が相次いでいます。また、汚染水量が1月にはすでに地上タンクの容量を超え、貯蔵計画が破たんしていたにもかかわらず、東京電力はそのことを隠ぺいしていました。原発事故は収束していません。大量に漏れ出した放射性物質の除染も進まず、健康不安も深刻です。

「新規制基準」で再稼働狙う

政府の原子力規制委員会が検討を進めている「新規制基準」は、過酷事故（シビアアクシデント）が起きることを前提としながら、水素爆発を防ぐための排出口を設ければ

よいというものです。これが、安倍首相がいう「世界最高水準の安全」の中身です。

茂木敏充経済産業相は、テレビ番組で「新規制基準ができて、事業者が申請して安全が確認できれば再稼働となる」、また、「(原発を抱える地元の理解を得る)努力はしていく」と発言し、全国から怒りの声が上がっています。

再生可能エネルギーへ転換を

電力事業者の団体（電事連）の試算でも、使用済み核燃料の保管庫はあと6年で満杯になります。福島原発事故で放出された大量の放射性物質や、福島第一原発廃炉に伴う「核のゴミ」の最終処分の目途もたっていません。

原発ゼロを今すぐ決断し、廃炉と廃棄物処理、そして再生可能エネルギーへの転換に全力をあげるべきです。

ZENROREN 全労連 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
<http://www.zenroren.gr.jp>

2013.5